

② しかい ステキな視界



そんなことない!!



ちょっとちがう!!



そんなに聞こって
どうしたんさ。
いやなことでも
あったんか?



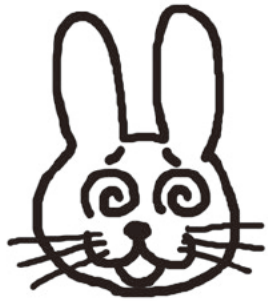
ぜんぜんちがう!!

※編集者の気持ちと時間的余裕のなさにより、手抜ききの4コマとなりました。深くお詫び申し上げます。

見づいっろは「コロコロ」する

(きつね) ほくらなんかやったら
見向(みむ)きもせえへんものでも、
画家(がが)は絵(え)にしてし
まうんやな。空(あ)き缶(かん)
なんか捨(す)てられてしまっ
けやのに、金山(かなやま)さん
に描(か)いてもらったからずつ
と注目(ちゆうもく)されて幸(し
あわ)せやな。

(うさぎ) 50年(ねん)まえは
知(し)らんけど、いまやったら
空(あ)き缶(かん)はリサイクル
ルやろな。あつ、それからピンも
(きつね) この絵(え)、おもし
ろいな。つくえが傾(かたむ)い
た感(かんじ)じで、上のものが
落(お)ちそうやし、ピンはたよ
りなさそうやし、おまけにイスが
ものすこいちっちゃく描(か)い
とる。なんでもっときつちり描(か)
かへんだんやろ?!



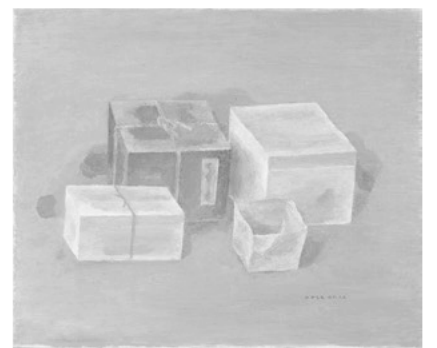
よいいけんです。

(うさぎ) とてもよい意見(いけん)
ですな、きつねくん。誰(だれ)も
描(か)かんものを題材(たいざい)
に選(えら)ぶっていうことも画家
(がが)ってひとたちのすこいこ

やけど、そこから別(べつ)の世界
(せかい)をつくってしまっこと
できるのはもつとすこいことや。金
山(かなやま)さんは、わざとピン
とか「つくえ」をゆがませて、いろ
んな表情(ひようじよう)をもたせ
て、ほくらにひと味(あじ)もふた
味(あじ)もちがう世界(せかい)を見(み)
せてくれとる。ものすこく、ものす
ごくホンモノみたいに描(か)いて、
それでホンモノとちがう別(べつ)
の感(かん)じを出(だ)す17世
紀(せい)のオランダの画家(がが)
か)がおったけど、別(べつ)の世
界(せかい)が出(だ)せるんやっ
たらどんな描(か)き方(かた)で
もええんやろな。

(きつね) 画家(がが)のひとた
ちはいつも新(あたら)しい世界(せ
かい)をさがして冒険(ぼうけん)
してんや。

(うさぎ) きつねまできれいに話
(はなし)、まとめてしもうたらこの
新聞(しんぶん)の「ひろがり」が
なくなってしまうわ。おねがいや
ボケて。



坂本繁二郎(さかもとはんじろう)
《箱(はこ)》
1960年(ねん)

(うさぎ) 次(つき)は坂本(さ
かもと)さんの絵(え)。ふつう、
こんな箱(はこ)なんかだれが描(か)
く? こんな描(か)くんやったら、魚
(さかな)とか野菜(やさい)とか
お菓子(かし)とか描(か)くわ。

(きつね) 食(た)べるもんばっ
かりやな。そんな、うさぎやっ
たら描(か)くまえに食(た)べてし
まうんやな。...それにしても
この絵(え)の中の箱(はこ)、箱
やけど箱(はこ)とちがうように見(み)
えてくるわ。じーっと見ててみ。

(うさぎ) そんなこと言(い)わ
れても箱(はこ)にしかみえへんわ。
(きつね) なんや、うさぎ。さっ
きからえらそうなことばっかり言
(い)うとったのに。《箱(はこ)》っ
ていう題名(だいめい)が頭(あたま)
ま)からはなれへんのやな。この
絵(え)のなかになんかしらへんけ
ど、ものがありそうで、それでなさ
そうで、プルプルと細(こま)かく
うごいとするような感(かん)じがわ
からへんのや。

(うさぎ) ...さっきまでうしろ
でコナンくんがしゃべってくれとっ
たから...



(うさぎ) また新聞(しんぶん)
のすきがなくなつてさんねんや
な。イラストとか4コママンガなん
かやめたら、もつといういろ紹介
(しょうかい)できるのに...っ
てしゃべつたらまたすきが減
(へ)つてきたわ。ええと、こん
どの絵(え)の題名(だいめい)は...
「ぼうげん」?

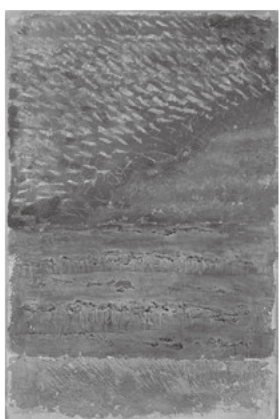
(きつね) ススキがたっくんはえ
とる原(はら)っぱのことらしいに。
でも、ススキなんかどこにあるの?
(うさぎ) この新聞(しんぶん)
のすきがなくなつてきたからいう
けど、絵(え)の左上(じやうさ)の点々(てん
てん)がススキやで。

(きつね) 夜(よる)の原(はら)っ
ぱかなあ? ちょっと暗(くら)く
てこわい感(かん)じがするし、絵
(え)の下のほうなんか、何(なに)
描(か)いとるのかせんせんわから
んで、もつとこわくなるわ。

(うさぎ) そこや! わざとわか
らんようにしておくつていうのも芸
術(げいじゆつ)ではないせつなん
や! そこから無限(むげん)のひ
ろがりがるまれるんや! ええこと
言(い)うやん!

(きつね) ...またコナンくんが
しゃべつとるな。

香月泰男(かづきやすお)
《芒原(ぼうげん)》
1968年(ねん)



金山康喜(かなやまさき)
《静物(せいぶつ)》
1951年頃(ねんころ)

